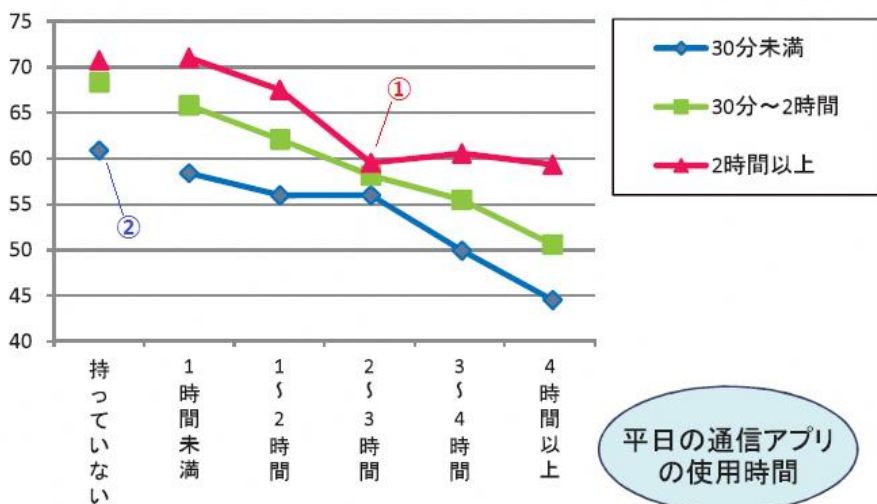


長時間の通信アプリの使用、成績低下のおそれ？ ～どのようにスマホと付き合いければよいか～

数学の平均点



「学習意欲の科学的に関するプロジェクト」(仙台市と東北大学の共同プロジェクト)
 (平成26年度版資料より抜粋)

このグラフは、仙台市教育委員会と東北大学が共同で研究を行った調査のうち、「**数学の点数と平日1日の通信アプリの使用時間との関係**」について、平日2時間以上勉強するグループ(―)、30分から2時間勉強するグループ(—)、30分未満のほとんど勉強しないグループ(—)の3つに分けて示されたものです。

※仙台市の全小学校(5年～6年)および全中学校(1年～3年)が対象、有効回答数 43,524 名、平成 26 年 4 月調査

<調査結果からわかること>

○平日の勉強時間が長い生徒も短い生徒も、基本的には平日の**通信アプリの使用時間が長ければ長いほど、平均点が低くなっている**

※「平日2時間以上勉強をしているが、通信アプリを2～3時間以上使っている生徒(※グラフ中①)」よりも、「平日の勉強時間 30 分未満だが、スマホ等を持っていない生徒(※グラフ中②)」の方が平均点が良くなってしまいう結果も見てとれます。

通信アプリの使用により、勉強時間や睡眠時間が少なくなるから成績が下がるのではなく、**通信アプリの使用自体が成績を下げる方向に影響を与えている**可能性があるとして研究チームは指摘しています。



今回紹介した調査を参考に、学習習慣とスマートフォンの利用方法やルールについて、今一度考えてみましょう。

<参考>

- 仙台市「学習意欲の科学的に関するプロジェクト」ホームページ
<http://www.city.sendai.jp/manabi/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/kanren/kyoiku/project.html>
- 「学習意欲の科学的に関するプロジェクト」(平成 26 年度版)
<http://www.city.sendai.jp/manabi/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/kanren/kyoiku/documents/h26gakusuyiyoku.pdf>



本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。
 【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田
 ☎:0776-20-0745 (直通) メール: h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp